

生物資源産業学部

■生物資源産業学科

生物資源産業学部では、バイオテクノロジーを応用した生物資源の生産、医薬、食品としての有効利用に関連する幅広い知識、国際的に通用する専門性、バイオ産業創出に必要な起業マインドをもった人材の育成を目的としています。そのため、生物資源産業学部では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

バイオテクノロジー、生命、医療、食料、農業、環境に強い関心と学びに対する意欲があり、自分で明確な目標を定めることができる人

探究力

興味や関心を持った科学的事象を深く掘り下げることができる人

表現力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識・教養をもつ人

思考力・判断力

幅広い知識と教養、多くの経験をもとに深く思考し、適切に判断できる人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—化学および基礎的な物理、生物の知識

数 学—「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」における内容の理解と応用力

英 語—国際的な専門分野を学ぶために必要な読解力と基礎的な運用能力

国 語—様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民—地歴・公民における基礎的な内容の理解

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験ではこれらに加えて「表現力」「関心・意欲・態度」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験ではこれらに加えて「探究力」「表現力」を評価します。より深い知識とともに、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

学校推薦型選抜Ⅰでは、地方創生に意欲をもつ入学者の受け入れを目的としており、「地域産業振興枠」と「専門学校・総合学科全国枠、地域枠」があります。いずれの枠も大学入学共通テストを課さず、個別試験のみで選抜します。個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」を重点的に評価し、「探究力」「協働性」をあわせて総合的に評価します。

<地域産業振興枠>

自らの住む地域に愛着を持ち、地域の生物資源を利用する産業を発展させる創造的活動をめざす入学者の受け入れを目的としています。本枠は、学科（普通科や専門教育を主とする学科等）の指定や地域の限定を行わず広く募集します。

<専門学校・総合学科全国枠、地域枠>

地域の1次産業や6次産業の担い手としての活動をめざす入学者の受け入れを目的としています。本枠は、（各地域の産業界と結びつきの強い専門教育を受けた）専門学校・総合学科を対象とし、「全国枠」および「地域枠」により募集します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）<主体性・表現力重視型>

3教科の大学入学共通テストでより深い「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「探究力」「協働性」を合わせて評価します。高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
総合問題	一般（後期）	日本語で書かれた文章や図表等により，下記の力を問う記述・論述式の出題を行う。 ①化学（化基・化）に関する基礎学力と思考・判断力（実験データの解析力等を問う場合あり） ②現代の社会における諸問題（バイオテクノロジー，食料，農業等で抱える問題）や生物資源産業への深い関心と，自らの考えを表現する力 ※②は小論文の要素を含めた出題
小論文	推薦Ⅰ	日本語で書かれた文章や図表等により，「思考力・判断力」「表現力」を問う論述式の出題を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行う。
個人面接	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて個人面接を行い，提出書類等の確認を行う場合がある。なお，推薦Ⅰにおいては，高校の基礎学力（「化学基礎・化学」）を確認するため，口頭試問を行う。また，推薦Ⅰ・地方創生型（地域産業振興枠）では，「学びの設計書」に関する内容についてプレゼンテーションを行う。
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動，生徒会活動，プロジェクト活動，ボランティア活動，海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価する。また，推薦Ⅰでは，「資格・検定等」を合わせて評価する。なお，推薦Ⅰ・地方創生型（専門高校・総合学科全国枠，地域枠）においては，「意欲的に取り組んだ活動」で農業，工業，商業，水産に関する学科又は総合学科特有の活動実績を評価する。 ※作成方法については，「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
学びの設計書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	大学・社会人までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野の理由を含めて，300字～400字で簡潔に作成して提出する。学びの設計書は必ず受験者自筆で作成する。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ，総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ				○	○	
個別学力検査 <教科>	一般（前期）			○	○	○	
総合問題	一般（後期）		○	○	○	○	
小論文	推薦Ⅰ			○		○	
集団面接	一般（前期）	○		○			
個人面接	推薦Ⅰ	○		○	○		
	推薦Ⅱ	○		○			
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○	○		○		○
学びの設計書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ		○	○			
調査書	一般（前期） 一般（後期）				（総合判定の参考）		
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○					○